

# 想



カット／羽多悦子

## 椎名麟三文学碑 遂に完成

田 麟  
新  
^作家▼



「椎名さんの文学碑はどうなつてんの」話のたびに延び延びの返事ばかりくりかえしていたから、ほんまに出来るのかいなどあやぶまれていた。その文学碑がどうとう出来た。紛れもなく書写山頂に。椎名麟三の文学碑を提案したのが、五回忌、五十二年三月だった。幸い発足したばかりの姫路市民文化協会の方々と知り合い、沖塩徹

也氏らのご協力で最初の会合を持ったのが翌年五月。「椎名麟三文学碑建設委員会」をスタートさせ、発起人選びと基金募集の呼びかけを軌道に乗せたのが、その年の末といつた具合でベースは慎重をきわめた。

最初、姫山公園を選んだが、特定地域ということで時間的に認められ無理。生家近くの女人堂よりは、観光客の多い書写ロー・ウェイのふもとへ。そこから更に山頂へと二転三転。一方碑の石は、造形作家の小野田寅氏を中心に小豆島福田の花崗岩とめぐり逢い、イメージ以上の大きな石を手に入れることに成功。碑文を決め、椎名さんと親交のあった岡本太郎画伯に書を依頼。彫りの作業が終つても設置場所だけが、決定できずにいた。

ふもとか、山頂か。私は山頂に

このわっていた。三・五トンもある碑をどうして引上げるか。昔からの山道は一本しかない。これまでにヘリコプター案が消え、索道も無理。「椎名さんの碑や。山の上で構えるよりは、地上で町の人とも気安く、犬の散歩でそそうさでもわき、奇妙なふれあいになるのとちがうやろか」「書写山へは年間三〇万人の参詣者があり、山頂でこそ名所にふさわしい」「ふもとの風景は、近い将来開発されんとも限らんし、永い目で計画を立てるべきだ。その点山頂なら半永久的だ」これら世話人の意見に私は抗っていた。

碑を特製の台車に乗せ、最後の望みである山道をユンボで曳く方法が決まったのが、ことし五月末だった。山道はわずか二キロ足らず、昔風に言えば十八丁。請負つてもらった宇鷹建設や石屋さんも「やつてみな判らへん」除幕式予定は、すでに一年余り遅れ、三度も順延していた。

六月十七日、手に汗を握る引上げ作業が開始された。狭い山道、曲りくねった傾斜道をメートル刻みに曳く。ユンボと呼吸のあつた五人の作業員によつて二日目の午後、碑がとうとう山頂へ運ばれた。台座の工事が終わり、地鎮祭の後、本体の碑が台座の二本ボルト

る碑をどうして引上げるか。昔からの山道は一本しかない。これまでにヘリコプター案が消え、索道も無理。「椎名さんの碑や。山の上で構えるよりは、地上で町の人とも気安く、犬の散歩でそそうさでもわき、奇妙なふれあいになるのとちがうやろか」「書写山へは年間三〇万人の参詣者があり、山頂でこそ名所にふさわしい」「ふもとの風景は、近い将来開発されんとも限らんし、永い目で計画を立てるべきだ。その点山頂なら半永久的だ」これら世話人の意見に私は抗っていた。

碑を特製の台車に乗せ、最後の望みである山道をユンボで曳く方法が決まったのが、ことし五月末だった。山道はわずか二キロ足らず、昔風に言えば十八丁。請負つてもらった宇鷹建設や石屋さんも「やつてみな判らへん」除幕式予定は、すでに一年余り遅れ、三度も順延していた。

六月十七日、手に汗を握る引上げ作業が開始された。狭い山道、曲りくねった傾斜道をメートル刻みに曳く。ユンボと呼吸のあつた五人の作業員によつて二日目の午後、碑がとうとう山頂へ運ばれた。台座の工事が終わり、地鎮祭の後、本体の碑が台座の二本ボルト

の上に、すんなりと納まつた。関係者の見守る熱いまなざし。無事を祈り、成功を願つた拍手がこだまする。木立に映える白い碑が、いかにもさわやかにかがやく。岡本太郎氏の文字が風にふれ、炎のようにゆれる。大きな鳥が羽根を広げて、やすらぐのに似て美しい。

建立に傾けた永かった時間が、ふと消える。ご協力者の熱い力が結集したのだ。この記念すべき日六月二十五日。忘れがたい瞬間である。腕時計は午後一時四十七分を示していた。

〔除幕式／八月二十四日（日）午前十一時  
於姫路市書写山頂ローブウェイ駅北側〕

## 演奏会

佐野 健二

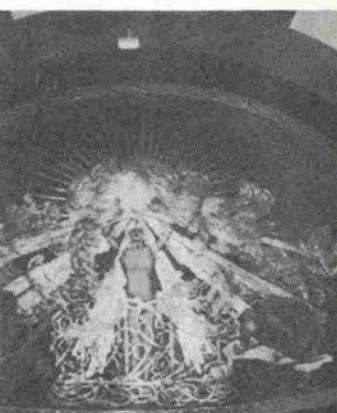
（ギタリスト）



ロンドンでは、よく演奏会を開

きに行きました。ロイヤル・フェスティバル・ホール、ウイグモア・ホール、近くの教会。超一流から無名の新人まで。ひどい時は、一週間ほど続けて通つたものです。

日本に帰つてからは、あまり演奏会に行かなくなりました。それには二つほど理由があります。まず一つは、高すぎるんです。セゴ



►ロンドンのヴィッグモアホールでの演奏会

ビアという、クラシック・ギターの大家がいます。何年かぶりで彼は日本に来ます。ところが、チケットの値段は、僕がロンドンで聞いた時の約十倍。需要と供給の関係が違すぎるのでしょうか。日本にはこんなに人が多いのに。

選挙の話ではありませんが、日本政府は戦後、こんなにまで日本中に、物をあふれさせることに成功したというのに、物質面以外で、人の心を豊かにすることには成功しなかつたようです。

もう一つの理由は、演奏会の雰囲気。僕は、演奏会に行くと、だらしなくすわりついでできるだけ人のいい所を選ります。少々悪い席でも、従つて、たいてい後ろの方ということになります。そこからだとお客さんの頭がよく見えます。そして、お客さんの頭がじっとして動かないのを見つめます。それが不思議でなりません。

リズミックな曲なら、自然に身体も動くでしよう。何かに憑かれただよに身動きしません。コソコソ話をしようものなら、きっと、だ



これが少しだけですが、僕の息は、つまってしまうんです。これは、家でレコードを聞いている方がいいという人がいても仕方ないと思います。静かにするのは、大事なことだと思いますけれど、もう少し自然になれないものでしようか。

ロンドンでは、演奏会を開くばかりでなく、開きもしました。日本ほどお客さんは静かにしてはいるけれど、ステージと客席の空気は、自然につながっているんですね。拍手以外で、お客さんの反応がわかるんだから。

今度、神戸で演奏会を開きます。いや、開きましたでしょう。皆様がこれをお読みになる時は、七月二十四日です。そして、この日は何の因果かセゴビアの大坂でのリサイタル日。これは、十分すぎる

ほど僕の演奏会にくるお客さんが少ないと、いう理由になります。でも精一杯、空気が凍らないよう頑張ります。ちなみに入場料は、ロンドンでのセゴビアの約二倍です

## 文章ぎらい

古西 武史



（朝日カルチャーセンター・神戸館長）

私は、なりたくてなった新聞記者ではない。文才があるとも思えない。だから、文章＝記事を書くことには、どちらかといえば楽しむことよりも苦しいことが多かった。ジャーナリスト志願者が多いこのごろ、「文章はニガ手でね」などといえば、いかにもキザッぱく、いいかっこうをしているようとにられるので、いわないことにしている。

はじめて記事を書いたのは、もう三十年もむかのことだ。たしか、新開地近くの火災の記事を十行ほど書いた。活字になった自分自身だけが、一ページの新聞の中で、大きく光ってみえたのを見ている。当時、地方新聞にいた私は、見たこと聞いたことを片づけながら記事にし、そつくり新聞

に出たものだ。記者が少なくて、原稿が足りないから、何でものつた、とは知らなかつた。数年のうちにA紙に転社した。それからが大へんだった。個性豊かな大記者がごろごろしていた。私のような作家記者が通用するわけはない。わずか二、三十行の記事が、ズタズタにされる。まして、連載記事の百二十行、特集記事の三百行を書かせてもらうまで、数年を要した。記事をボツ（捨てる）ことにしたり、百行の労作をたつた三十行に切りさいなむのも部次長のデスクである。デスクというのは、記事を素通りさせる記者にバカにされる。かといって、残酷な仕打ちをするとうらまれる。Bさんは後者のデスクであった。百二十行の連載記事を出した。一回目は、通り目を通しただけで、データが足りんねと笑つ返された。二度目は文章構成がなんとかかんとかいわれて、これも書き直し。三度出した。これもお気に召さず返ってきた。四度目。「うんこれだよ」といつて何とかパスした。このときの原稿は、実は一回目に少し手を加えただけのものだった。ニュースでないものは、よく家に原稿用紙とH.Bのエンピツをどつさりかかえて帰り「宿題」のようにして書いた。これで、うまく書けたためではない。茶のんだり、ト

イレにひんばんに行く、テレビが邪魔をする。はじめの二十行ぐらいいに、二、三時間はかかる。結局は、デスクの前で、原稿用紙一枚ずつはがすようにとりあげられる破目になるまで、書けないのである。新聞記事は、半紙を四つ切りにしたような原稿用紙に書く。これは新聞の巻取紙でキズのある部分を回収し、裁断しただけのものである。もちろんマス日はない。これに句読点をふくめて二行で十五字書くことにしていて。原稿のはじめとおわりの方が四百字詰原稿のように視覚にはいつてこないので、文脈がつかみにくい。これが活字になると、何とかかくこうがつく。活字というのは不思議な魅力がある。ガリ版ではそういかない。

朝日カルチャーセンター（東京、大阪）には文章教室がある。大阪で、はじめ三十人ほど募集したところ、みるとふくれあがつた。いまは八十人の人が、文章と取組んでいる。男も女も、若い人も年の人も。仕事で書かねばならないのに書けないと苦しんでいる人もいるだろう。活字になったときの魅力にとりつかれている人もいるかもしれない。文章というのは楽しいものか苦しいものなのかな。もう記事を書くことがなくなつたいまも、私はつかみかねている。

□ある集いその足あと  
日本アマチュア

飛行クラブ 神戸支部

高見隆之

（株式会社高見王冠代表取締役  
ライオンズクラブ3351  
A地区緊急救助航空隊隊長）

日本アマチュア飛行クラブ（J

AFC）の母体は日本産業航空株

式会社で日本で最も古い航空会社

で大阪八尾空港内にある。昭和12

年琵琶湖畔にて天虎飛行研究所を

設立したのに始まる。戦前のアマ

チュアクラブ員の中には嵐寛十郎

氏の名もある。現在では千宗室氏

横山やすし氏等名士の顔が多々あ

る。JAFCはその母体の中昭和

29年に発足し会員数は800名を擁し

去年25周年記念を盛大に催した。

J A F C 神戸支部は昭和25年4

月2日に第1回の会合を持ち、現

在で7回を数える。その間、会員

中でライセンス取得者がると全

員で合格コンペを開く。その場所

は飛行機野郎にふさわしくスナッ

ク空港と決まっている。昔は初ソロ（単独飛行）に出た時にはネクタイを切つたりシャンパンをかけたりして同僚が祝つたようだ。今でも握手責めに合い、一生忘れる事のできない感激の一日である。

神戸まつりには53年より三年間デモフライトをしたが、毎回発煙筒をたき一回目は三機編隊にてフラワーロードを北上し、二回目は単縦編隊にてローパスを行う。この時は撮影班、指揮官機が加わるため計五機の進入になり壮大なものになる。発煙筒は本年やつと着火し、華麗さを増した。サンTVの実況中継で小曾根実氏がセスナ機が煙をハイで飛んで行ったと言っていたが、パイロットとして悲しい限りだ。日本全国祭り多いといえども陸海空三位一体の祭りは神戸だけではないだろうか。

会員の年齢は20歳から55歳まで、職業も医師、農業、サラリーマン等、種々雑多だが、趣味を同じくするものばかりなので和気藹々である。

休日ともなれば会員同志連絡をとり、セスナ機をチャーターしてアマチュアばかりで白浜、高松、名古屋、鳥取など飛行場のある所どこまでも交替で操縦して

くし難い。我がJAFCは25年来、一度も事故なく全国に誇るクラブと自負している。

単発軽飛行機は機種としてセスナ式、バイパー式、ビーチクラフト式、ボナンザ式、富士重工式などで代表される。一般には何んでもセスナ機と呼ばれているが、セスナは高翼機で、他は低翼機である。飛行機は整備士によつて完全に整備され、搭乗前にはパイロット自身が再度点検する事が義務付けられている。飛行前には天気のチェック、航路の設定など緻密な準備が要求され、最も安全な方法でフライトされる。緻密な頭脳と不斷の注意、沈着にして瞬間的な決断が養成され、私の経験からして事業にプラスになる点が多々あるのだ。苦しみの中より楽しみが生まれ出てストレス解消にも最適だ。アマチュアには年齢制限がなく、50歳以上でもフライトにアタックされる方が多数おられる。これも若返りの秘訣であろう。

空にはロマンがあり、ムードがある。最後に姫路、豊岡方面にも空を愛する人々が数限りなくいて、八尾空港が遠隔のため志を断つた方が多くあると伺つてゐる。せめて神戸か三木地方に一本の滑走路があればと痛感している。

■連絡先/〒658東灘区魚崎南町七丁目一二六号先(株)高見王冠電441-266-66



毎年、神戸まつりのパレードでは大活躍だ。

# オリエンタル レディスクラブ

会員募集中



オランダ総領事館協力による  
オランダ料理のグルメの会

年会費：お一人 5,000円

割引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル  
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし  
ます。その他いろいろの特典がございます。

特別催：随時、会員のための特別催しをいたします。

お問い合わせ

オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

（078）331—8111



## ヘルシーな夏のトルテ

### ヨーグルトルテ

ドイツ菓子  
*Fleischmann's*  
ユーハイム®

当社はユーハイムコンフェクトとは関係ございません。混同されないようご注意ください。

本 三 さ ん 宮 ち か 店	店 三 宮 大 丸 前	TEL (331) 1694 TEL (331) 2101 TEL (391) 3539 TEL (0611) 280262
西 ド イ ツ 店	三 宮 下 街 ス ウ イ ツ タ ウ ン 内	
	フ ラ ン ク フル ゲ ー ト ハ ウ ス 内	

□連載エッセイ／私のひろいもの ▼18▼

# 聚楽の辻

竹中 郁

△詩人・絵も△



地下電車にばかりのって、行き来していると、地上のけしきが変わっていくのに気がつかない。新開地のシンボルだった聚楽館の建物や、大阪駅の中央コンコースをふくむ建物が取りはらわれていたのにびっくりしたのも、迂闊な地下旅人のつい近ごろの経験だ。

この二つとも大たい昭和はじめの建立だから、スタイルも似ていたが、建物の生命も似ていたといふことになる。聚楽館については一九七八年十一月の本誌にその別れをおしむ一文を書いた。しないだ、その取りはらったあとけしきを「神鉄ビル」の東角のひろびろとした路上からみた。青々とした山々が久しぶりにおめみえして、まるで大正のはじめへ逆戻りしたようだった。なくなつたのも惜しいが、こうして、山がまるみえなのもよいと思った。

初代の聚楽館は大正五年ころに建った。市民に及ぼした娯楽文化のかずかずを記すだけで、聚楽館の功をたたえられるが、この跡にその存在したしを何とか残してもよからうではないか。石や銅板のモニュマンでもよいが、「聚楽の辻」という名前だけを市民にひろめるだけでもよい。

平野梅元町の墓地の中をあるいていて、「設楽貞雄墓」と淡白に彫った墓をみつけた。墓の頭部に「辻」つなぎの文様が彫つてある。これが初代聚楽館を設計した人だ。なぜ私がこの名をしってるか。じつは須磨の中池下というところへ移つたら、うちの二階の便所からとなりの設楽邸がまるみえだった、という因縁で、その主人が設計家だと知ったのだった。大正七年の秋だった。

「聚楽館を設計した設楽氏」とはまるで漢字の語呂合せみたいでおかしかつたが、本人はいい気分

だつたことだろう。山手の神戸教会の向いに事務所をかまえて手広くやつていたように思えたから、神戸にはその設計になる建物が今日でも残っているかも知れない。

のちに私はパリのオペラ座やミラノのスカラ座をみて、初代聚楽館設計の種はこんなところで拾つたのだと覚つた。

ことしの五月、フラゴナール展を京都でみたら、その中に初代聚楽館の舞台前天井絵の源流をみつけて、当時の日本人の器用な模倣精神にほほ笑んだ。

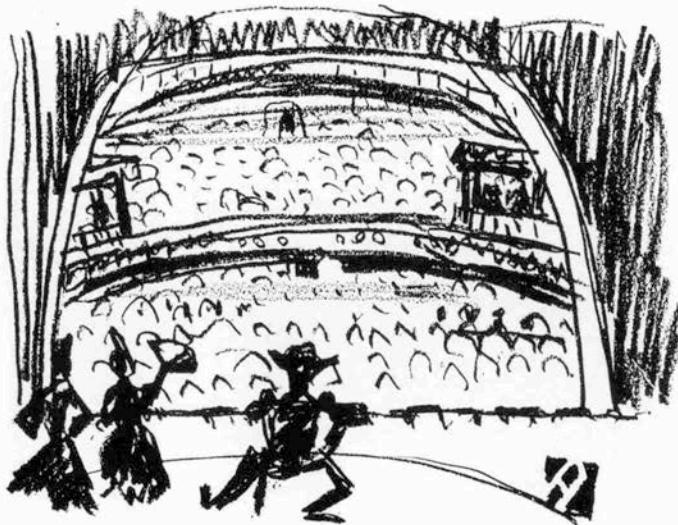
その天井絵は、岡山県人の南薰造の筆だろう。当時の創立者の一人で、のちの社長武岡豊太氏は初期浮世絵の蒐集家だった。

美術に眼があった。その令息が三人あつて、三人目が在世なので尋ねたら、南というたかどうかわからぬが、岡山の人だった、という返事。

劇場二階の左右の棧敷にかるく鉄の柵をくんで、厚織のカーテン地で囲んだ構えも、いずれどこかにお手本があつたのだろうが、東京の帝劇のまるうつしだといわれる聚楽館だったのに、この鳥籠のような棧敷は帝劇にはなかつた。

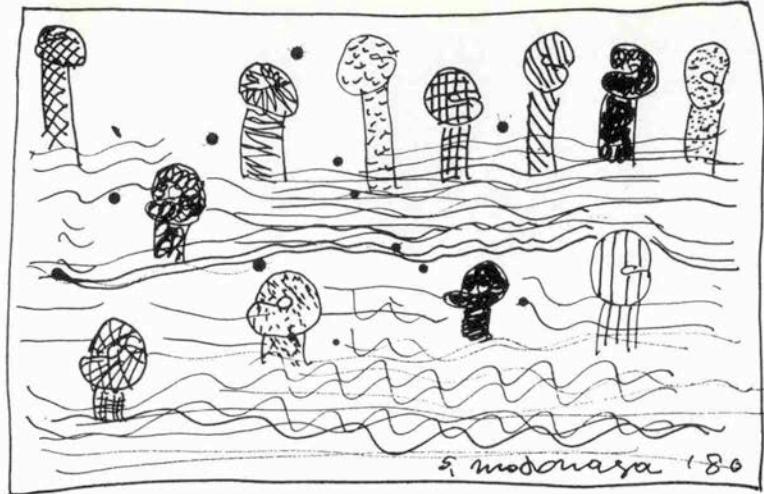
設楽氏は大いに儲けたかして、大正九年ころ須磨の桜木町へ自作の洋館二階を新築して移つた。

うちの二階便所からのぞきみて、その年ごろの娘さん三人を見るのをたのしんでいた私は、がつかりした。



# 夏の終りの須磨海岸

三枝和子（作家）  
絵／元永定正



現在、私の関西での住所は県下加東郡滝野町である。中国自動車道が開通して以来、東京往復は新大阪からのハイウェイバスを利用している。たまに神戸に向くときは、マイカーで西宮北インターから新神戸トンネルをくぐって旧市内に入る何かの都合で神姫バスで三ノ宮に行く場合は明石の玉津から第二神明を通る羽目になる。何を言いたいか、お分りだろうか。須磨海岸を通るチャンスが失くなつたのである。

須磨海岸は、私の懐しい場所である。幼いとき、少女の頃、ここでどれほど海水浴をしたことか。戦後はさすがに泳いではないが、夏の真盛り、国電の須磨駅から、どつとばかりにあかく日焼けした人が乗り込んで来る光景は好きであった。そのとき、私は、あの茶色っぽい金網越しに須磨の海の雑踏を感じて心が弾むのであつた。

俗に言う芋の子を洗うような混雑がなければ何だか海水浴をしたような気分にならないのが不思議である。七、八歳の頃だったかの一夏、父の任地の都合で西二見の海岸で泳いだことがあつた。学校から帰ると家で水着に着替えてそのまま裸足で海へ。歩いて三分もかかる長い距離である。まさか、そこからわざわざ電車に乗って須磨まで行くことはない。海もきれいだし、ひとくのんびりしている。しかし私は子供どころに何となく不満であった。これは海水浴ではない、そんな気がしてゐた。

もつとも最近のテレビで眺めている混雑はひどすぎて、昔の基準で芋の子を洗うなどと表現していては追つかない。にもかかわらず、やっぱり人は沢山いる方がよい。人の居ない海は海水浴場

じゃない。しかもその賑やかな海水浴場が雨の日にがらんとしていたりすると、それはそれで、また一つの眺めである。混雑の海水浴場が好き、という気持とは決して矛盾しない気持でそう思う。

その日は土用波が立っていた。土用波が立ちはじめるところが出てるので泳がないようにと子供の頃はよく注意を受けていたなあ、と思いながら、私は須磨の海岸を歩いていた。そろそろ店じまいが始まっていた。前夜に台風のはしりめいた強い風が吹き荒れたせいか、葭簀が倒れ、かき氷の旗が砂浜の方まで飛んでいた。ジーニースの空堀や缶も片付けられないまま、真青な海と空だのに、変に侘しい風景だった。

それでも泳いでいる人がいた。余程自信があるのだろうか、高い波に逆らって、沖へ、沖へと抜き手を切つていく男の人が三人、岸近くで、波をかぶつて喚声をあげている人が数人、砂浜にも何かいただろうか。店じまいのリヤカーの柄に、強い陽さしがきらぎらと照り返していた。

私は所用のため鷹取中学を訪れ、ふと思いついて市電に乗り回り道をしたのだった。用事は何だったか忘れたが、友人が鷹取中学の先生をしていて、確かに夏休みの日直とかで職員室で出会ったよう思う。

そこからどうして須磨海岸へ行つてみようといふ気持になつたかは、はつきりしないが、おそらく若くて時間を持て余していたのだろう。少女の頃を懐しむ気持もあつたにちがいない。何の目的もない、ただぶらぶらと砂を踏みしめ潮風に吹かれていた。

それが、どのあたりだったか、いまは記憶がぼ

やけているが、混雑のときはこの辺が西のはずれだろうか、と思われる波打際に犬の死骸が打ちあがれていた。腹が異様に膨れあがつて、そのためか身体がひどく痩せて見えた。四肢を突つ張つて歯を僅かに剥き出す形で、早くも大きな銀蠅が、その眼のあたりにたかっていた。

私は、それ以上近付くことができなかつた。慌ててその場を引き返した。散歩の気分はどこかへ吹つ飛んでしまい、落ち着かなくなつた。

それから、しかしいつとはなしにその状景も忘れた頃、数年、いやそれ以上も経つた頃、フェリーニの『甘い生活』という映画を見た。ひと昔前だけれど評判の高かつた作品で、あのラストシーンの朝、海辺に打ちあげられた大きなえい（だらうか）の眼の印象を未だに憶えて居られる方もあると思う。あのシーンを見たとたん、私は、ほとんど反射的に海水浴場の犬の死骸を思い浮べてしまつたのだった。

どのような連想作用が働いたのかは分らない。しかし、『甘い生活』も一夜のデカダンな馬鹿騒ぎのあとに迎えた白々とした朝だった。夏の終りの海水浴場と共通点が無くもない。

最近の事情は全く知らないが、今年も須磨の海岸は賑うのだろうか。そして土用波に夏の名残りを惜しむ人も相變らずいるのだろうか。



□著者紹介

昭和四年、神戸市に生まれる。関西学院大学文学部卒業。「処刑が行われている」で第十一回田村俊子賞受賞。最新作は文芸誌『昂』に掲載の「三つの宇宙」。これは三話短篇によって構成されているが、ショーリアリスムの手法による硬質な作風のなかに、男女の情念の世界が展開されている。また岡本かの子についての論考も最近出た(講談社版「人物女性史・女の一生第一巻」所収)。夫君は塙谷雄高論などで著名な森川達也氏。県下淹野町在住。

こうべにふれあいのディテールを

心の通う店創り

**nick**  
KOBE NAGOYA TOKYO

神戸日建

商業施設全般・調査企画・店舗装備・設計施工

株式会社 神戸日建

本社(設計室) 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20  
PHONE (078) 252-1321(代)

神戸事業部 PHONE (078) 251-3525(代)  
名古屋事業部 PHONE (052) 561-3618

東京事業部 PHONE (03) 278-1369

●ローン・リースの開店資金のご相談を承ります。

まごころこめた  
さわやかな  
贈りもの



北欧の銘菓  
**ユーハイム・コンフェクト**

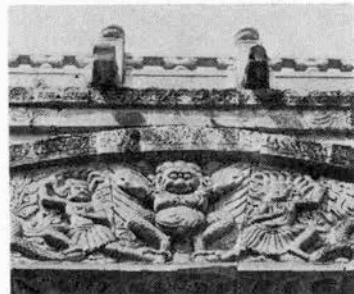
■本社 神戸市葺合区熊内町1-8-23 ☎221-1164

△その12▽

# 中国大都市の建築

多淵 敏樹

（神戸大学助教授（建築史））



伝統をしめす居庸関の細部

中国を代表する都市といえば、首都である北京と、人口千三百万にも及ぶ世界一のマンモス都市上海。そしてこれらに続く天津での状態は昔も今もそしてこれらも当分かわらないだろう。このうち上海と天津は共に十九世紀中ごろに強制的にヨーロッパの列強によって租界がつくられて、それぞの国のスタイルの建築が建てられて、今も多く残っている。

いわば中国における異人館群である。そのありさまは、我が神戸市の北野山本地区のいわゆる異人館街の比ではない。特に上海ではそれらの建築の保存がよく、東洋における洋風建築の展覧会場といべきである。そのせいであるの

だらう、三つの都市のなかでは、上海に見られた現代建築が、最もスマートであった。

この三つの都市で、地域文化の一つの表現ともいえる建築のあり方について、それぞれ取り組み方が違っているように思われた。ただ街全体を細見したのではなく、主として大学の建物しか見ていないので、やぶにらみ的であるかもしれないが、建築教育とその実践を結合させている中国の大学ではキヤンバス内の建築が最も本質的であると考えられる。

北京では市内いたるところで新建築ラッシュで、大学内でも多くの建物が建設されていた。そのスタイルはいろいろで、設計グループの思い思いの様式が用いられて日本における不統一ぶりとあまり変わらないようであった。近代都市北京の早急な実現へのあせりとも思えた。

上海の同濟大学や師範大学の建築も洋風建築の伝統に支えられて最も正統な現代建築群をもつていて、私が見ても充分納得のいく方

が、中国の求めるべき方法としては正しいのではないかと思う。ソ連の直接の指導のあった時代の、左対称で中央を高くした、威圧的で権威主義的な建築と比べて、はあるかに優れている。しかも中国には、古くから石造や煉瓦造の伝統がある。居庸関や万里長城などの造型にその源流がある。これを生かすべきであろう。

中国では新しい建築や都市計画を決定するためには、その地域の人々の意見を聞き、何種類かの案を作成して検討することを原則としているから、それぞれの都市や大学で実施されるものは、必然的に地方色豊かになってくる。

天津大学を例にとると、建築設計研究院（大学院）があつて、教師と学生が一体となって、建築計画や都市計画を行ない、実施にうつしている。その範囲も大学の建物や教職員の住宅、天津市の都市計画や街路改造計画、さらには電報局や港湾施設などまで及んでいる。大学の研究即実践という社会主義国特有のシステムであるが、日本でも少しはとり入れる必要があるのかもしれない。

# 私の消夏法・あんけーと



## やはり休暇が一番

坂井 時忠

（△兵庫県知事）



歐米諸国のように避暑地をさだめての長期バカンスを楽しむ習慣がないわが国でも、せめて一週間ぐらいの休みはとりたいものですね。第一、私の手帳は七、八月も行事予定でマックロなのです。

私の場合、強いてあげれば、

一、ノーアイ、ノータイでお許し願いたい。

二、家へ帰れば、風呂に飛びこみ、ユカタか、タオル地のスポーツウェアで畳の上に大の字になりたい。

三、十人の孫がゾロゾロと集つてくるので、デパートに連れていく、二、三日県営などの保養施設に案内してやりたい。（今年はグリーンピア三木で三泊の予定ですが、予算はいくらと家内が心配しています）呵呵。

それにしても休暇で思い出すのが、故大平首相、入院される前は七十日以上一日も休まれる日がなかったとかせていく日かの休養を取らせてあげたかったと、心からご冥福をお祈りしているこの頃です。

クーラーが普及しての今日。しめきった部屋の中で読書なりテレビを見るのが一番——という省エネ何處吹く風の消夏法が、ベストといえるかも知れない。でもこれでは味もそつ気もない。  
そこでこんな消夏法を——

一、お金と闇があつたら——  
休暇を存分にとつて日本脱出。スイス、北欧、カナダ

とノーケーラー生活。

二、奉仕の精神があつたら——  
海を、川を奇麗にしようと——

朝からパンツ一枚の裸で、清掃業をかゝって出よう。  
三、夢があつたら——

ビニールで一〇〇畳敷き位の白い雲に似たガス気球を作り、そのまん中に寝ころんで、空の雲の仲間入り。降りる方法は未解決。

四、お金がなかつたら——

## ……であつたらの消夏法

内海 重典

（△宝塚歌劇団理事・演出家）



あちらこちらのホテルのロビー巡り。但し最近は省エネで28度がお達し、一寸暑いかモー。なんだつたら各銀行巡りをして、カウンターに腰かけて避暑。冷房は利いている上に銀行強盗に間違えられてヒヤヒヤ。

## 我が家は冷房不用

鴨居 玲  
△洋画家△



「もしもしこちらは秋だがね……」

たかはし もう

多分地理的な故であろう、現在の私の住居では昼間、夜間を問わずに、一切冷房を必要としない。

だから熱帯夜とのニュースを聞くやいなや、その暑さ



中村 茂隆

△神戸大学教育学部△

## 暑いって言つてられない



人一倍汗かきなので夏はいやですが、「暑いなあ」と思ったとたん気持がダラーンとしてくる。あの瞬間がいやなので、できるだけ「暑いなあ」と思うゆとりをつくりたいよう工夫をしています。

大学勤めで、ふだんは作曲という持続と集中を必要とする仕事のための時間がとれず、いきおい夏休みにそれらが溜まり、追いつめられた気持になるので、その点ではかなりたすかっていますが、それにも気分転換が必要なので、

一、推理小説を読む：他の文字類はともかく、これだけはだまされてハラハラドキドキしてしまう。  
二、山登り……結構汗はかくが登った以上降りて来なくてはならない。(二年連続の富士登山、ただ悲愴でした)  
三、麻雀：下手くそだから。

以上いづれも「暑いなあ」なんて考へている暇がなく、我とわが身を勝手に追いつめてしまふところがよいと思

のためにうなつてゐるであらう友人達に電話を掛けまく、如何に吾が家が涼しいかを懇切丁寧に説明し、それに加えて「貴君達、秋はまだまだだが、くれぐれも体に注意するように……」と心からの激励と電気代の上つたこともあらためて、再確認させてあげるのである。

無念の歯を喰いしばつて、奥さんや子供達に当り散らしているであらう友人達の姿を想像すればする程、私は更に快適な夏の夜の眠りに就けるのである。

さて熱帯夜はまだか――。

# 今でも“土用稽古”

花柳 楽瞳

△舞踊家△



今は亡き師、花柳芳瞳に仕込まれた酷暑酷寒の方法を披露いたしましょう。

とても簡単な、そして金も要らず、親から授った肉体でできる方法です。亡師の志を継ぎ、いや存命中から仕込まれ、今日まで実行している消夏法は、もちろんクーラーも出現していない、扇風機もない団扇の頃からのものです。日本人が忘れかけた言葉ですが、芸道に触れた人ならよく知っている言葉 “土用稽古”。

今の若い舞踊家にとっては縁の遠い言葉かも知れませんが、出せる限りの汗、躍動する肉体、この健康的な活動、昔ながらの土用稽古こそ我々舞踊家にとっての本当の消夏法です。

私の主宰する芳五会では、現在でも実施しています。ただしユカタ会という並なことはせず、“日々是踊”的実力行使。これはほんとの消夏法となります。ちなみに酷寒の折、火鉢しかない頃は、ジクリジクリと汗を出し稽古また稽古を実施しています。これを続けるのも今や芳五会だけのようです。八十年の時代に踊り続けてまた踊り、これが私以下門弟一同の真の消夏法。

忘れかけた言葉 “土用稽古”。また冬の “寒稽古”。“神戸つ子”の読者に知つてもらえばと思います。そしてまた舞踊家たちに昔の言葉となつた土用稽古を想起こしてもらい、それを消夏法として欲しいものだと思います。

# 冷や汗の涼しさ

細川 董

△哲学者△



ゾクツというか、ゾクゾクツというか、要是自分を血の氣も引くほど恐ろしい目にあわせれば、暑さなんて一晩に消えてなくなる寸法だ。

今夏は、もうこんな目にあつたので、充分涼しい。

ちよっと、御紹介しておこう。

「来月モデルチェンジなら、大分まけて下さいますね？」

「ええ。今お買い下されば、エアコン代の十七万円お引きしましよう」

「てな具合で、この春四月に私はモデルチェンジ一ヶ月前の車に、ただでエアコンをつけてもらつて買ったんですね。す。

やがてむし暑い梅雨に入りました。

さすがアメ車会社を倒産に追いやるも道理の評判通りのエアコンは、小さな車の中をグングン冷し、涼しい顔。夕涼みがてらのドライブとしゃれこんでいたのはよかつたが、とうとうある夜、友人宅を訪問して、まあ運転台から降りようとしたが右足がしびれていふことをきかない。一瞬にして硬直し不自由になつた右足をひきずりながら、とにかく車外へいざり降りて必死で足をもみもみ考えた。

△どうとう中風で半身不随に?なつたのでは?▽ゾクツと冷や汗が全身をかけめぐる! その涼しかつたこと、その涼しかつたこと!

# かき氷

増田正和

△造形作家▽



「銀行の中は涼しいですナ」

たかはし もう

みぞれ、イチゴ、レモン、ミルク、金時、宇治。ミルク金時、宇治金時。こうして並べたてるだけで冷氣を呼ぶ感じがする。

り上げられふりかけられた蜜で頂は甘く溶けている。  
不用意にサジを入れると、崩れて器からこぼれ落ちる

ので、最初のひとすくいは場所を見極めて慎重にやらなければならぬ。口に入れると、かき氷ならではの感触がある。何よりも、後口がさっぱりとして爽やかなのがいい。止めどなく流れていた汗も嘘のように引く。アイスクリームやコーラでは、こうはない。

日本の夏は、かき氷に限る。そして、かき氷の良さは夏が暑ければ暑いほど生きる。

日本文化を育んだのは、めぐる季節であった。四季の対比は鮮烈なほどよい。そう信じて、暑さの夏を耐えるのが、私の消夏法である。

## 土が風を誘う

山田 幸平

△大阪芸大教授▽



本来、夏は好きだから暑さはあまり苦にならない。但し次のような過し方を心がけている。

一、関西よりもさらに暑い所への旅行。たとば鹿児島、スペイン、中国の敦煌、インドなど。

二、大都会の集会では必ず背広の上衣を腕にぶら下げてゆく。冷えすぎる冷房からの防衛である。その日の集会の場所が冷房があるかないかの勘だけは、すばらしく冴えている。

三、数度、誘われて一週間ばかり信州へ避暑に行つたが帰阪後の暑さが印象的だった。

今、遠大な計画を練つてゐる。自宅のささやかな庭を樹木繁り、草花満ち、冷風わが頬を撫ぜ、螢飛び交うものにするため、良質の土だけを買い、盛り上げてみた。風土、わが住む環境が良質になるには、土が必要であると気づいたのである。土さえ豊かであれば、風は誘われて吹く。



# 暑中お見舞申し上げます

1980年 盛夏

## 神栄石野証券株式会社

取締役社長

石野 成明

神戸市生田区栄町通二丁目八一二  
電話(078)391-1000一<sup>代</sup>

## ウシオ工業株式会社

取締役社長

牛尾 吉朗

神戸市生田区江戸町九五  
ウシオビル  
電話(078)392-1201<sup>五代</sup>

## 菊正宗酒造株式会社

代表取締役

嘉納 耕六

神戸市東灘区御影本町一-七一-五  
電話(078)851-1000一

## 関西貿易株式会社

取締役社長

竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二-一六一-九  
電話(078)671-1600二<sup>代</sup>

## 株式会社 ダイエー

取締役社長

中内 功

大阪府吹田市豊津町九番一号  
電話(06)380-1414一<sup>四七</sup>

## 株式会社 アシツクス

代表取締役社長

鬼塚喜八郎

本店  
電話(06)大・神戸市八〇七〇  
大阪府三吹八市須磨区寺田三一  
五市豐津町一四町三一  
一市一津町二二二一  
一一三一三

カット／藤谷明正

## 三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪 吉郎

神戸市葺合区脇浜町二丁目一一一  
電話(〇七八)二五一五〇〇一四

## 島文工業株式会社

取締役社長 島田 文六

神戸市灘区岩屋中町四丁目二一七  
電話(〇七八)八七一五一八一

## 光印刷株式会社

取締役社長 南部 圭三

西宮市津田町三番六号  
電話(〇七八九八)三六一一五五一

## UCC上島珈琲本社

代表取締役社長 上島 達司

神戸市生田区多聞通五丁目三  
電話(〇七八)三四一三六〇六代

## 近藤忠商事株式会社

代表取締役 近藤 忠吉

神戸市生田区加納町二丁目三〇  
電話(〇七八)二三一四三二〇

## 兵庫信用金庫

理事長 園田 正和

本店・姫路市北条口一〇八番地  
電話(〇七八九二)八二一一一二五五  
支店・カド店(姫路市内)  
そのほか113、神戸市内

## 株式会社 ノザワ

取締役社長 野澤太一郎

神戸市生田区浪花町一五番地  
電話(〇七八)三九一七二二二四

## さんちかタウン サンこうべ

## 神戸地下街株式会社

神戸市生田区三宮町一丁目一  
電話(〇七八)三九一一四〇三四代

## 株式会社 三星堂

取締役社長 上林 英一

神戸市生田区山本通二丁目六  
電話(〇七八)二三一四三四一(大代)

## 麒麟麦酒(株)神戸支店

支店長 桑原 通徳

神戸市葺合区御幸通四丁目一一一  
電話(〇七八)二五一八一五一一代

(順不同)

# 暑中お見舞申し上げます

1980年 盛夏



## 株式会社 リザーブ

取締役社長 畑崎 廣敏

神戸市生田区三宮町一丁目一七一  
電話(078) 391-1680 一代  
(八月二八日 元町ジム「Fオーブン」)

## 株式会社 淡路屋

取締役社長 寺本 混

神戸市生田区相生町二  
神戸駅構内  
電話(078) 351-1682

## 店舗装備・設計・施工

## 株式会社 神戸日建

取締役社長 小野原啓次

神戸市葺合区御幸通三丁目二二〇  
電話(078) 251-1332 一代

神戸輸入促進フォーラム理事長

田嶋株式会社取締役社長

## 田嶋克巳

取締役社長 星野 晴彦

神戸市東灘区住吉宮町六一五—三五  
電話(078) 811-1224

## ポートアイランド住宅 株式会社

取締役社長 星野 晴彦

神戸市葺合区磯上通四丁目二二二  
電話(078) 251-16372

# 大神印刷株式会社

代表取締役 篠原 芳夫

神戸市生田区港島中町二丁目二一十五  
電話(078)302-1270〇代

神戸市東灘区魚崎西町四一二二三  
電話(078)851-1459五代

ニューブーンフレッシュドレッシング  
**(株) N・B フードズ**

代表取締役 保田 信之

# 今津建設株式会社

取締役社長 今津 成生

神戸市兵庫区吉田町二丁目二六一四  
電話(078)671-1363二代

# 株式会社 南ビル不動産

南 泰吉

神戸市兵庫区荒田町一丁目一一  
電話(078)511-1335九代

# 観光ホテル 鈴 江

代表取締役 鈴江 喜人

神戸市生田区花隈町八八  
電話(078)351-1333一代

自民党兵庫県連会長  
衆議院議員 石井 一

神戸事務所

神戸市生田区北長狭通三一一二一  
鯉川ビル7F  
電話(078)331-190一七

# 東神物産株式会社

取締役社長 富永 幹太

大阪市東淀川区菅原二二一〇一二八  
電話(06)329-1616一代

# ワシオ産婦人科診療室

室 長 鷺尾 隆

神戸市生田区元町通二丁目二〇一七  
電話(078)391-159一九

# ナニワ印刷株式会社

大阪市北区天満一丁目九一九  
電話(06)351-1727一九

# ナニワ美術印刷(株)

大阪市北区天満一丁目  
電話(06)351-1012八

大和実業グループ  
大和実業株式会社  
代表取締役 岡田 一男  
大阪市北区芝田二丁目一一八  
電話(06)10F三七二一八五七一代

(顧不同)

